



はなわ あきこ
埴 昭子さん

大勢の人が参加して盛り上がるのが一番うれしい

港まつりが近づくこと、市民おどりに参加する町内会、事業所などから踊りの指導者派遣の要請があり、実行委員会事務局からの依頼で市内各所に出向いて指導している埴民謡舞踊会の代表者埴さんに聞きました。

埴さんは昭和50年に苫小牧に転入し、経験のある踊りを続けようと民舞白寿会に入会、以来港まつりに関わっています。踊りを教えるようになったのは昭和50年代後半に老人演芸大会に向けて、老人クラブを指導してから。平成3年からは、歌謡曲に合わせて踊る新舞踊にも挑戦、現在は師範としてさらに研鑽を積むため、札幌や東京に勉強に向かう熱心さです。「踊りが本当に好きでないと長続きはしません。現在、アイビー・プラザ、豊川コミセン、老人クラブで指導していま

すが、90歳の人も元気に習っており、教え子みんなの励みになっています。教え子が見る見るうまくなっていくのが非常にうれしく、また楽しみであり、私の生きがいになっています」と埴さん。

「港まつりは町内会の参加がほとんど、少なくなっており寂しく残念に思うが、昨年はコミセンで教えているメンバーが参加してくれてうれしかった。平成16年に委員会からの依頼で、苫小牧サンバの踊りに横の動きを加えるなど簡単に踊れるようにアレンジしたが、まだ定着していません。もう少し普及して欲しいですね」と今後を期待する。

ちなみに、ハスカップレディが踊るのが、アレシジした踊りです。パレードを観覧される方はご覧になってください。「踊りは全身を使うので健康のためにも良いし、頭も使う。曲に合わせて踊るのが本当に楽しい。港まつりにたくさんの方が参加し、大勢の人が見に来てくれて盛りあがってくれるのが一番うれしい」と指導に向く足取りは軽い。

profile:

1929 / 函館で生まれる
1955 / 苫小牧市に転入し、その後転出
1975 / 苫小牧市に再転入
1994 / 埴民謡舞踊会代表
有珠の沢町在住



仲間と楽しむ Circle & Community



さら同好会 (布のリフォーム)

代表 / 池田 アサエさん
活動日 / 毎週火曜日 13時～
(5週目は休み)
活動場所 / 女性センター
☎32 3544

昭和62年、着なくなった着物や洋服をリフォームしてみようと、旭町にあった婦人ホームで6人の仲間活動を開始。現在、結成当時の5人を含めて20人のメンバーで、洋服、袋物、帽子、小物など実用的な物を作製しています。風呂敷で座布団を作成しようとする人に、仲間が協力して綿入れ作業のお手伝いをしていましたが、笑いが絶えない楽しい雰囲気の中で進んでいました。作品は女性センターフェスティバルで発表しています。初心者の方には結成時からの指導者である下村先生やベテランの方がやさしく指導してくれます。眠っている布を新しい形に生き返らせる楽しい会です。興味のある方は女性センターへお問い合わせ下さい。

みんなの声

集団回収にご協力ください

..... 資源リサイクル推進室

市では、古新聞・古雑誌・ダンボールなどの古紙類については、町内会などで実施している集団回収による資源化を図っており、「クリーンとまこまい」やホームページなどでもお願いしているところでもあります。今後とも、奨励金制度の活用により集団回収の活性化を図るなど、リサイクルの推進がまちぐるみでの取り組みとなるよう周知してまいります。

なお、平成19年度一年間かけて、まちぐるみでのごみの減量化とリサイクルの推進に取り組みするため、053(ゼロごみ)大作戦を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。ご不明の点がございましたら、ご連絡ください。

古新聞・ダンボール類の資源化をお願いしたい

..... 市民 男性

「紙の街苫小牧」として名高い街と聞き、十年前程前にあこがれて苫小牧に引っ越してきましたが、古新聞やダンボールまでごみとして処理されているということに驚きました。紙は自然からできていて、限りある資源を大切にしなければならぬと思いますので、市の対応をお願いしたい。

市民さんかくコーナーについて

市民さんかくコーナーの担当が変わりました。1月から6月まで担当していただいた、樽前artyの皆さんには、毎月、趣の異なるいろんな作品で楽しませていただきありがとうございました。今後、機会がありましたら、また、参加いただければと思います。

今月号からは、昨年も参加していただきました星まゆみさんが担当します。市民の憩いの場である「金太郎の池」を季節ごとにとらえた作品をお楽しみ下さい。

広報とまこまいのリニューアルについて

8月号から、広報とまこまいの紙面をリニューアルいたします。新企画のコーナーを設けるなど、暮らしに役立つ広報紙を目指します。

また、市の自主財源を確保するため、新たに企業、事業所などの広告を掲載することになりました。広告の掲載希望については、広報広聴課または市が委託した広告代理店の(株)北日本広告社苫小牧営業所(☎36 7751)へご連絡下さい。

詳細 広報広聴課 ☎32 6108

投稿募集

身の周りの出来事や最近思うことなど自由な投稿を募集中。内容を300字以内にまとめ住所、氏名(紙上匿名)、年齢、電話番号を記入の上〒053-8722 旭町4丁目5番6号広報広聴課へお寄せください。原稿は要約することもあります。☎は32 1117、Eメールはkoho@city.tomakomai.hokkaido.jp